

比較文化特論 I A

選択 2単位

コルネウヴァスグエトラナ

1. 授業の概要(ねらい)

この演習では、現代にいたるまでの様々な文化に着目しそのルーツと発展を探り、色々なジャンルの文化について知識を身につけ、理解を深めていく。受講生は関心のあるテーマを自由に選び、教員が提示するやり方に沿ってレジユメを作成し、授業で口頭発表を行い、その発表に対し他の受講生と教員の質問に答え、さらに皆で議論するという流れをとっている。セメスターにつき、発表は最低一回行うことを条件とする。

なお、個人発表は主であるが、全員が感心をもつテーマについて、グループ議論を行う予定である。

2. 授業の到達目標

- ・研究発表を通して論文を書く能力を高める
- ・全体的に「比較」を意識することで比較文化的な手法の応用について理解を深める

3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への積極的な参加、予習など)50%、発表50%からなる総合評価

*3回以上の欠席(公欠を除く)は不可とする

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを用意し配布する。

5. 準備学修の内容

発表の事前準備(テーマ選定、参考文献の収集・整理、レジユメの作成)を必要とする。

6. その他履修上の注意事項

継続的・積極的な受講を期待する。

第5回～第15回の授業の内、1回分の授業をLMSにて行う予定である。どの回がLMS上になるかについては早めに周知するので、LMSの連絡事項などを定期的にチェックすること。

7. 授業内容

- 【第1回】 リエンテーション 演習について・発表の割り当て
- 【第2回】 伝統文化の研究手法
- 【第3回】 レジユメの作成指導
- 【第4回】 個人報告と討論
- 【第5回】 個人報告と討論
- 【第6回】 個人報告と討論
- 【第7回】 個人報告と討論
- 【第8回】 個人報告と討論
- 【第9回】 個人報告と討論
- 【第10回】 個人報告と討論
- 【第11回】 個人報告と討論
- 【第12回】 個人報告と討論
- 【第13回】 個人報告と討論
- 【第14回】 個人報告と討論
- 【第15回】 個人報告と討論